

研究分担者 朝子 幹也 関西医科大学 病院教授

研究要旨

難治性疾患である好酸球性副鼻腔炎は通常治療に抵抗性で決め手となる治療が存在しない。しかし、手術治療や抗体治療は病態に大きな変化をもたらす disease modifier として位置づけられる。これら治療の QOL や重症化予防に関する検討を後方視的に行う。

A. 研究目的

好酸球性副鼻腔炎治療における手術治療、抗 IL-4Ra 抗体の効果、QOL 改善効果、重症化に与える影響を検討する。

B. 研究方法

当院において令和 3 年 1 月から 12 月にかけて好酸球性副鼻腔炎に対して手術、抗 IL-4Ra 抗体投与を行った症例を後方視的に検討を行う。ポリプスコア、SNOT-22、CT スコア、再手術あるいは継続的ステロイド全身投与を行っている症例を評価項目とした。

（倫理面への配慮）

個人情報には匿名化し保護されている

C. 研究結果

手術治療による大幅な QOL、CT 及び内視鏡所見の改善を見る一方で、1 年内の比較的短期でも 30% の増悪を認める。抗 IL-4Ra 抗体投与を行った症例では有効率が 96% であった。

D. 考察

手術は完治が望める治療ではあるものの、再発例も少なくない。長期管理薬として抗体治療を併用することで再発、重症化を抑制できる。

E. 結論

好酸球性副鼻腔炎に対する手術は QOL 症状 所見の改善に有効である。一方で抗 IL-4Ra 抗体も QOL 症状 所見の改善に有効で長期管理薬として有用である。

F. 健康危険情報

抗 IL-4Ra 抗体で一部頭痛、高好酸球血症を認めた。

G. 研究発表

1. 論文発表

生物学的製剤の登場 One airway, one disease からみた包括的アプローチ 喘息合併慢性副鼻腔炎の治療 耳鼻咽喉科の立場から Progress in Medicine40(7) 723-729.2020

内視鏡下鼻副鼻腔手術の基本手技.日耳鼻誌 124(3) 233-235.2021

好酸球性副鼻腔炎における黄色ブドウ球菌エンテロキシンの感作に関する検討.免疫アレルギー学誌 1(1)49-54.2021

好酸球性副鼻腔炎と気管支喘息.アレルギーの臨床 41(13)1155-1158.2021

2. 学会発表

1. Dupilumab の副反応に関する検討 好酸球増多を中心に.日本鼻科学会 2021

2.好酸球性炎症の新たな展開 組織好酸球の活性化マーカー.日本鼻科学会 2021

3. デュピルマブのアドヒアランスに関するアンケート調査.日本アレルギー学会 2021

4.好酸球性副鼻腔炎・中耳炎(病態) 好酸球性副鼻腔炎の術後長期経過についての検討.日本アレルギー学会 2021

5.抗体製剤使用前後における好酸球性副鼻腔炎の病理組織学的変化.日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会.2021

6.好酸球性副鼻腔炎における黄色ブドウ球菌エンテロキシンの感作に関する検討.日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会.2021

7.デュピルマブは喘息または NSAID 過敏症の状態にかかわらず鼻茸を伴う重症慢性副鼻腔炎患者の嗅覚を改善する.日本耳鼻咽喉科学会 2021

8.デュピルマブは鼻茸を伴う重症慢性副鼻腔炎患者の嗅覚症状を速やかに改善する:SINUS-24/52 第3相臨床試験.日本耳鼻咽喉科学会 2021

10.難治性副鼻腔炎の病態と治療.耳鼻咽喉科臨床.2020

11.難治性鼻副鼻腔炎に対する局所療法 吸入ステロイド経鼻呼出療法から Airway Medicine を再考する.日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会.2020

12.One airway、One disease の概念における Type2 炎症の関与と包括的気道炎症制御 Airway Medicin.日本呼吸器学会.2020

13.喘息合併好酸球性副鼻腔炎に対する Dupilumab の有効性の検討.日本耳鼻咽喉科学会 2020

14.喘息合併好酸球性副鼻腔炎に対する Dupilumab 投与時の有害事象の検討.日本耳鼻咽喉科学会 2020

15.鼻茸を伴う重症慢性副鼻腔炎を対象とする Dupilumab 第3相試験 SINUS-52 における日本人部分集団解析.日本耳鼻咽喉科学会 2020

17.慢性副鼻腔炎 Up-to-date 日本耳鼻咽喉科学会 2020

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし